様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

平成　２７　年　　６　月　　８　日現在

機関番号：　３３９０８
研究種目：　基盤研究(B)
研究期間：　2010～2014
課題番号：　２２３３０２２２

研究課題名（和文）１９５０年代における地域文化活動の実証的研究－民衆の自己教育運動の史資料発掘

研究課題名（英文）Substantial study of local cultural activities in the 1950s

研究代表者
大内　裕和（Ouchi, Hirokazu）

中京大学・国際教養学部・教授

研究者番号：８０３０９７０７

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　14,600,000円

研究成果の概要（和文）：1950年代が、戦前や戦時期との連続性を持ちながら、戦後の社会システムや大衆意識の形成にとって、決定的な意味を持っていたということを、当時の史資料から明らかにした。これらについて、多数の雑誌論文の執筆、学会発表、図書の刊行を行った。また、1950年代を再検討することによって、＜現代＞が戦後社会の転換点であることを、より明確にすることができた。これらについても、多数の雑誌論文の執筆、学会発表、図書の刊行を行った。

研究成果の概要（英文）：While the 1950s had a continuity with before war and the war time period, we clarified that it had a decisive meaning for the formation of the social system and the public consciousness after the war from historical materials at that time.About these,we published the writing of a large number of presentations at the meeting and a large number of books.In addition,we were able to make that the present age was a turning point in the society after the war clear more by reexamining the 1950s.About these,we published the writing of a large number of magazine articles,a large number of presentations at the meeting and a large number of books,too.

研究分野：　近・現代教育についての歴史的・理論的研究

キーワード：　歴史　教育　地域文化　民衆　1950年代　民衆

１．研究開始当初の背景
　冷戦構造の崩壊やグローバリゼーションの進展の下で、20 世紀や戦後社会の認識に大きな変容が起こった。その影響は多くの学問分野に及んだ。教育研究や歴史研究の様々な分野において、戦後史のなかで 1950 年代を新たに捉え直す試みが始まっていた。また、ヨーロッパやアメリカにおける文化研究の進展などによって、文化活動に関わる諸研究が深化し、その研究成果を教育研究や歴史研究へと適用できる可能性が開かれつつあった。

２．研究の目的
　1950 年代の地域文化活動に焦点を合わせて、歴史研究を進める。その際に、地域文化活動を民衆の自己教育運動として捉える視点を重視する。史資料の発掘を積極的に行い、新たな歴史像を構築する。

３．研究の方法
　1950 年代を中心に、教育分野を中心に史資料を幅広く集め、実証的研究を行う。共同研究の利点を意識し、定期的に研究会を行って相互の意見交換を行う。また、国際交流の重要性を意識し、国際学会や国際会議での報告を積極的に行う。

4.研究成果
（1）水溜真由美『「サークル村」と森崎和江――交流と連帯のヴィジョン』（ナカニシヤ出版）は、森崎和江の思想を「サークル村」という空間のなかで捉え直す研究であり、これまでの「サークル村」研究、森崎和江研究、1950 年代研究に対して大きなインパクトを与えた。

（2）石原俊『＜群島＞の歴史社会学』（弘文堂）は、＜群島＞という地域に着目した研究であり、国民国家論や歴史社会学研究に新たな視点と方法をもち込んだ研究成果である。

（3）長志珠絵『占領期・占領空間と戦争の記憶』（有志舎）は占領期の捉え直しを行うと同時に、1950 年代研究としてもこれまでにない考察を行った歴史研究である。

（4）大内裕和+竹信三恵子『「全身○活」時代就活・婚活・保活からみる社会論』（青土社）は、1950 年代に形成された日本型雇用が解体したことによって、そのことが若年層のライフコースにどのような変化を与えているのかを考察した研究である。

５．主な発表論文等
（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 41 件）

① 鳥羽耕史、廃兵と原爆――大田洋子に見る戦争の記憶、比較文学年誌、査読有、51 号、2015 年、62-70

② 水溜真由美、生活記録と〈運動〉2 趣旨説明――50 年代文化運動の中の生活記録運動の位置」、クァドランテ、査読無、17 号、2015 年、303－306。

③ 石原俊、鹿児島県南大隈町佐多地区 2 集落における生業と自治の状況――地域社会維持の諸条件に関する一考察、査読無、45 号、2015 年、61-69。

④ 石原俊大学の＜自治＞の何を守るのか――あるいは＜自由＞の再構築にむけて、現代思想、査読無、42 巻 14 号、2014 年、68－83

⑤ 黒川みどり、教員養成の立場から歴史教育を問う、歴史評論、査読無、774 号、2014 年、43－54

⑥ 長志珠絵、地域研究としての女性史−まなび・かたり・つなぐ一、ジェンダー史学、査読無、10 巻、2014 年、128－129

⑦ 大内裕和「現在の奨学金制度：何が問題なのか」、ヒューマンライツ、査読無、318 巻、2014 年、2－9

⑧ 大内裕和、子どもの貧困 : 奨学金問題の視点から、貧困研究、査読無、12 巻、2014 年、38－44

⑨ 大内裕和、奨学金返済の重荷と雇用劣化が中間層解体と人口減を深刻化する、Journalism、査読無、294 号、2014 年、52-59

⑩ 大内裕和、奨学金制度はこれでいいのか、人間と教育、査読無、81 号、2014 年、96－103

⑪ 大内裕和、教育の政治支配と新自由主義、歴史学研究、査読無、902 号、2013 年、7－15

⑫ 大内裕和、ブラックバイト・全身就活・貧困ビジネスとしての奨学金、現代思想、査読無、41 巻 17 号、2013 年、112－118

⑬ 長志珠絵、"CITY MAP OF KYOTO" を「読む」 : 占領期研究序論、アリーナ、査読有、15 号、2013 年、36－45

⑭ 長志珠絵、戦争の事後を考えるー東京市忠霊塔のゆくえ、人文学報、査読有、104 巻、2013 年、137－166

⑮ 水溜真由美、労働者の共同性とサーク

ル運動：熊沢誠の「労働社会」論を手がかりに、敍説Ⅲ、査読無、10 号、2013 年、2－11

⑯ 黒川みどり、日本編　歴史解釈を塗り替えた“あの教材”　近代社会における部落問題／再考、社会科教育、査読無、No.651、2013 年、11－13

⑰ 長志珠絵、戦争の事後を考える、人文学報、査読有、104 巻、2013 年、137－166

⑱ 石原俊、島と海の想像力――地政学を超える系譜学へ、現代思想、査読無、41 巻 1 号、2013 年、228－232

⑲ 黒川みどり、問われる歴史教育、共同教科開発学論集、査読有、1 号、2013 年、1－9

⑳ 大内裕和、大阪教育行政 2011～2012 現代思想、査読無、40 巻 6 号、2012 年、107－119

㉑大内裕和、教育と貧困・格差、教職研修、査読無、40 巻 5 号、2012 年、58－60

㉒石原俊、〈島〉をめぐる方法の苦闘――同時代史とわたりあう宮本常一、現代思想、査読無、39 巻 15 号、2011 年、134－157

㉓長志珠絵、『過去』を消費する--日中戦争下の『満支』学校ツーリズム、思想、査読有、1042 号、2011 年、94－120

㉔水溜真由美、『筑豊』を問い直す――大正闘争後の森崎和江、環、査読無、43 巻、2010 年、266－287

〔学会発表〕（計 18 件）

① 鳥羽耕史、Godzilla and Gojira in 2014 Japan、documenting political: Godzilla returns,2014 年 10 月 13 日,New York University,New York.

② 黒川みどり、日本における部落問題－近現代の歴史をたどりながら、東京大学 2014 年日独共同大学院プログラム／ドイツ・ヨーロッパセンター／グローバル地域研究機構・交際シンポジウム「市民社会とマイノリティ」、2014 年 3 月 14 日、東京大学駒場キャンパス

③ 長志珠絵、人種とジェンダーの視点から
見る戦後日本の空襲の記憶と記録、シンポジウム Borders,Frontiers,Minsyu,2013 年 10 月 18 日，ニューヨーク市立大学、ニューヨーク市

④ 黒川みどり、日本近代部落史研究と被差別民、ワークショップ、植民地台湾における社会的排除と植民地権力、2013 年 10 月 18 日、台湾中央研究院台湾史研究所、台北市。

⑤ 鳥羽耕史、チャタレイ裁判と戦争、昭和文学会春季大会、2013 年 6 月 8 日、明治大学駿河台キャンパス

⑥ 水溜真由美、『アジアの女たちの会』について、「女性・戦争・人権」学会、2012 年 10 月 28 日、立命館大学朱雀キャンパス

⑦ 鳥羽耕史、廃兵と原爆――大田洋子に見る戦争の記憶、国際シンポジウム「記憶の痕跡」、2012 年 10 月 13 日、早稲田大学戸山キャンパス

⑧ 石原俊、移動民のエコノミーと主権の転移――小笠原諸島をめぐる国境の形成過程、東アジア近代史学会第 17 回研究大会、2012 年 6 月 16 日、日本大学

⑨ 黒川みどり、戦後／差別の諸相、東京歴史科学研究会、2012 年 2 月 2 日、早稲田大学戸山キャンパス

⑩ 石原俊、太平洋の船乗りと近代日本国家の系譜学――「ジョン・マン」と「ベン・ピーズ」をめぐって、Cultural Typhoon2011、2011 年 7 月 24 日、神戸市

⑪ 黒川みどり、近代日本社会における被差別部落民、第 11 回日韓歴史家会議、2011 年 10 月 28～30 日、ソウル

⑫ 長志珠絵、占領期研究の可能性を考える、グローバル COE「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」、2011 年 3 月 16 日、京都

⑬ 水溜真由美、フェミニズムとアジア、同時代史学会、2010 年 12 月 4 日、成城大学

〔図書〕（計 40 件）

① 藤野豊、黒川みどり、岩波書店、差別の日本近現代史、2015 年、280

② 今野晴貴、藤田孝典、上西充子、嶋崎量、棗一郎、大内裕和、岩波書店、ブラック企業のない社会へ、2014 年、80（63－69）

③ 大内裕和、竹信三恵子、青土社、「全身○活」時代ー就活・婚活・保活からみる社会論、2014 年、251

④ 赤澤史朗、北河賢三、黒川みどり他、影書房、『戦後知識人と民衆観』、2014 年、

373（255－294）

⑤ 大内裕和、岩重佳治ほか、日本の奨学金はこれでいいのか！ー奨学金という名の貧困ビジネス、あけび書房、2013 年、200（11－60）

⑥ 黒川みどり、田澤晴子、山田智、與那覇潤、姜海守、小嶋茂稔、松本三之介、勉誠出版、内藤湖南とアジア認識―日本近代思想史からみる―、2013 年、307（3－52）

⑦ 樋口映美、日暮美奈子、貴堂嘉之、兼子歩、小野直子、加藤千香子、岩井淳、永島剛、白川耕一、高田馨里、岩井淳、黒川みどり、彩流社、〈近代規範〉の社会史―都市・身体・国家―、2013 年、300（275－296）

⑧ 安田常雄、黒川みどり、岩波書店、社会の境界を生きる人びと－戦後日本の縁、2013 年、288（158－186）

⑨ 長志珠絵、有志舎、占領期・占領空間と戦争の記憶、2013 年、378

⑩ 石原俊、弘文堂、＜群島＞の歴史社会学、2013 年、202

⑪ 福間良明、野上元、蘭信三、石原俊、勉誠出版、戦争社会学の構想――制度・体験・メディア、2013 年、450（315－341）

⑫ 吉原和男、蘭信三、伊豫谷登士翁、塩原良和、関根政美、山下晋司、吉原直樹、石原俊、丸善出版、人の移動事典――日本からアジアへ・アジアから日本へ、528（10－11）

⑬ 水溜真由美、ナカニシヤ出版、「サークル村」と森崎和江――交流と連帯のヴィジョン、2013 年、402

⑭ 鳥羽耕史ほか、田原市博物館、生誕一〇〇年　杉浦明平の眼　ルポルタージュ――自己を見失わない生き方から小説・批評・エッセイへの軌跡、2013 年、128（86－91）

⑮ ミツヨ・ワダ・マルシアーノ、鳥羽耕史ほか、青弓社 、「戦後」日本映画論　一九五〇年代を読む、2012 年、340（86－91）

⑯ 黒川みどり、岩波書店、描かれた被差別部落　映画の中の自画像と他者像、2011 年、206

⑰ 黒川みどり、平凡社、近代部落史―明治から現代まで―、2011 年、267

６．研究組織

(1)研究代表者

大内　裕和（Ouchi Hirokazu）
中京大学・国際教養学部・教授
研究者番号：80309707

(2)研究分担者

水溜　真由美（Mizutamari Mayumi）
北海道大学・文学研究科・准教授
研究者番号： 00344531

石原　俊（Ishihara Shun）
明治学院大学・社会学部・准教授
研究者番号：00419251

長　志珠絵（Osa Shizue）
神戸大学・国際文化学研究科・教授
研究者番号：30271399

黒川　みどり（Kurokawa Midori）
静岡大学・教育学部・教授
研究者番号：60283321

鳥羽　耕史（Toba　Koji）
早稲田大学・文学学術院・教授
研究者番号：90346586